

ホタルふやしたい実行委員会

40年間続いた黒沢川清掃活動の想いを引継、今年「ホタルふやしたい実行委員会」を立ち上げました。10人のメンバーで実行委員会を育み、ポスター・投函箱・折紙作りや地域の川を図案化したまとめに、初夏のホタルとの出会いが多く寄せられ、最終的には『ホタル新聞』を発行しました。多くのホタルが飛び交っていて、うれしさと達成感を味わうことが出来ました。



またホタルの世話や餌のカワニナを増やしたりしている方々との出会いもありました。これからは、そのみなさまとの交流も進めていきたいと思います。
(島田福美)



折り紙ホタル作りと地図へのホタル情報記入



剣道 青梅市市民体育大会で優勝!

9月18日(日)に住友金属鋳山アリーナ青梅(青梅市総合体育館)で開催された青梅市市民体育大会「剣道」において、小曾木1丁目在住の板垣杏奈さんが小学女子5・6年生の部で見事優勝されました。小曾木市民センター体育館での週2回の練習の成果が見事発揮されました。



「第2層協議体情報交換会」に参加

10月14日(金)、高齢者が包括的に支援を受けやすくするために各生活圏域で活動を協議し進める団体「第2層協議体」主催による、令和4年度情報交換会が青梅市役所で開催されました。会議には、青梅市から健康福祉部長を始め高齢者支援課、社会福祉協議会が参加され、活動報告や意見交換が行われました。



小曾木地区では「高齢者お助け隊(おそきの学校と地域を考える会)」が自治会と密着し、富岡地区・黒沢2-1・黒沢3丁目で「認知症サポーター養成講座」や地区活動「介護保険について」をすでに開催しています。

ほぼ自治会の支会地区ごとに動き始めた状況は、日頃の生活の見守り・お助けの工夫も地域ごと様々で、無料ボランティアでのちょこっとお助け隊実施、低額有償ボランティアでの生活支援の検討、子どもたちとの「かるた取り交流」の提案、災害に備えた地域見守り対応の活動例もありました。

コロナ禍でもあり、自治会とまだつながっていない、活動内容を模索中という団体もあり、活動の地域差も大きく本格的な活動はこれからという印象ですが、支援の必要な後期高齢者の方々を、動ける高齢者の方々が中心となって支え、結果、それぞれの方の生き甲斐につながる仕組みを工夫しながら作りたいと感じる場となっていました。(若林良弘)

火災の初期消火の活躍に感謝状

6月2日(木)午前10時ごろに小曾木2丁目の資材置き場で発生した火災において、110番通報と近隣住民と協力して初期消火を行った小曾木1丁目在住の市川洋治さん、消火活動に協力した共立興業(今井)従業員のみなさんへ7月27日(水)に青梅消防署にて署長から感謝状が贈呈されました。後日、初期消火活動や情報提供などで協力した地域住民の方6人にも感謝状が贈呈されています。

